

1	事業名称	信州高遠アセアン加盟国中学生招聘事業			
2	新規・継続	新規			1年目
3	趣 旨	アセアン諸国で日本に興味関心のある中学生を招聘し、国立青少年教育施設を拠点に、地域の特性を生かした自然体験、文化体験、日本の青少年との交流体験を通して、日本に対する理解の増進を行う。また、日本の青少年に対して国際的視野の醸成、次世代リーダーの養成を図る。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
			11月18日（火）	～	11月28日（金）
					10泊11日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	21人 中学生マレーシア、シンガポール、カンボジア各国6名 引率1名計21名			
7	共催・協力・後援	伊那市、伊那市教育委員会			
8	参加者人数	アセアン中学生18名 引率3名 計21名 日本人中学生交流企画委員会18名 高遠中学校生徒140名			
9	参加者類型	シンガポール、カンボジア、マレーシアの中学生各国6名及び引率者3名 日本人中学生 中学生企画委員会18名 高遠中学校生徒140名 職員20名			
10	参加者地域	アセアン中学生 マレーシア、カンボジア、シンガポール 日本人中学生 伊那市立高遠中学校生徒			
11	参加者分析	アセアン中学生は、英語を話せるマレーシア、カンボジア、シンガポールの中学生各6名（原則13歳～15歳） 当機構の選考基準をもとにJAGAM（マレーシア元留日学生協会）、JUGAS（シンガポール留日大学卒業生協会）、JAC（カンボジア日本元留学生協会）が招聘者の募集及び選考を行う。 日本人中学生 伊那市立高遠中学校生徒 1年生から3年生まで各クラスから3名。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		78%	22%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	※満足度と主な記述は日本人中学生による ・学校での交流やフェアウエウルパーティーが本当に楽しくて、アセアン委員になってよかった。来年も委員をしたい。 ・英語力を高めないと言葉が通じない。伝えようとする気持ちや心はもっと大事だ。 ・今回の交流で、アセアン中学生とふれあうことができ、人間として成長できた。 ・外国の人と交流することは日本人にとって大事。お互いのいいところを共有し合いたい。日本のことをきちんと伝えられるよう勉強したい。 ・意見交換会で自分と違う国の文化・生活を知ることができた。			
14	成 果	・高遠中学校の全面的な協力を得て、部活動交流、授業体験、給食・清掃体験、学年・全体交流を温かい雰囲気の中で行えたことで、アセアン中学生は、日本の中学校生活を体験的に学び、その理解を深めることができた。帰国後もメールや手紙での交流が継続している。 ・ホームステイ体験からは日本の家庭生活、日本人の心にもふれる貴重な体験となり、松本城などの日本の文化・歴史体験、駒ヶ岳ロープウェイの雪山体験から日本への理解を増進させ、更に日本語を学ぶための動機づけとなった。 ・日本人中学生は、アセアン中学生の語学力や前向きな姿勢に大きな刺激を受け、今後の生活の充実と将来に向けて視野を広げていくきっかけとなった。			
15	今後の課題	・本交流の大きな目的となっていた、「日本人青少年の次世代リーダーの養成」ということについて、さらに力を入れていく必要がある。中学校アセアン担当教員と連携を密にして、1学期中から計画的に次世代リーダーとしての資質の養成に向けて取り組んでいけるようにしたい。 ・アセアン中学生に所内で「ミニ日本語講座」を開設し、日本語教育にも力を入れていく。 ・アセアン中学生が日本の自然・文化・歴史について体験するが、移動距離については一考を要す。			
16	担当者メモ	・大きな事業であり、企画指導専門職が数名入り、事業推進係や総務管理係の協力を十分に得る中で分担して、意図的、計画的に交流を進めていくことが望ましい。 ・予算計上及び執行にあたっては、遺漏のないように十分に留意し、根拠書類等の準備を怠らない。 ・計画の段階で中学校の行事とのすり合わせや中学生企画委員会の時期や運営方法について検討しておく。 ・通訳及び英語ができる学生ボランティアの確保につとめる。			

プログラム展開 アセアン加盟国中学生招聘交流事業			
日程・時間		プログラム	担当（講師等）
11月18日（火）			
1 日 目	午前	入国、成田空港、羽田空港到着 担当迎え	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	国立信州高遠青少年自然の家に移動 足湯体験・諏訪大社	国立信州高遠青少年自然の家職員
	夜	入所案内、オリエンテーション	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月19日（水）			
2 日 目	午前	信州大学農学部訪問 留学生と交流	信州大学農学部 小野教授 学務グループ
	午後	伊那市長・教育長表敬訪問	伊那市教育委員会学校教育課 北野課長
	夜	ウエルカムパーティー	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月20日（木）			
3 日 目	午前	駒ヶ岳ロープウェイ 千畳敷カール（雪山体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	水引つくり体験（日本文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員 飯田ふるさと水引工芸館館長
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月21日（金）			
4 日 目	午前	松本城で日本の歴史・文化学習	国立信州高遠青少年自然の家職員 アルプス善意翻訳協会
	午後	第1回 高遠中学校訪問 部活動交流	伊那市立高遠中学校
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月22日（土）			
5 日 目	午前	「おやき・五平餅つくり」（地域の食文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員 研修指導員
	午後	ホームステイ家族との対面	ホームステイ各家庭
	夜	ホームステイによる日本の生活体験	ホームステイ各家庭
11月23日（日）			
6 日 目	午前	ホームステイ家族との交流	ホームステイ各家庭
	午後	ホームステイ家族との交流	ホームステイ各家庭
	夜	意見交換会準備	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月24日（月）			
7 日 目	午前	「高遠ぶらり」中学生との交流（地域の歴史・文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員 中学生企画委員会 高遠ぶらり制作委員会
	午後	中学生意見交換会（高遠中学生）	国立信州高遠青少年自然の家職員 中学生企画委員会
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
11月25日（火）			
8 日 目	午前	第2回高遠中学校訪問 授業体験 給食体験	伊那市立高遠中学校
	午後	〃 清掃体験 学年・全体交流会	伊那市立高遠中学校
	夜	フェアウエルパーティー	国立信州高遠青少年自然の家職員 中学生企画委員会
11月26日（水）			
9 日 目	午前	荷物整理、退所、東京へ出発	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	大使館訪問、留学生の講話	国立オリンピック記念青少年センター職員
	夜	交流会	国立オリンピック記念青少年センター職員
11月27日（木）			
10 日 目	午前	合同評価会	国立オリンピック記念青少年センター職員
	午後	都内自主見学（アセアン中学生）	国立オリンピック記念青少年センター職員
	夜		
11月28日（金）			
11 日 目	午前	成田空港・羽田空港へ移動 出国	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後		

信州高遠アセアン企画委員会			場所
1	7月24日（木）	第1回 「交流事業概要、計画とプログラムについて」	国立信州高遠青少年自然の家
2	11月24日（月）	第2回 事業視察「中学生意見交換会」	伊那市立高遠中学校
3	1月15日（木）	第3回 「交流の成果と課題について」	伊那市役所 会議室

中学生交流企画委員会			場所	指導者
1	9月17日（水）	第1回 交流事業概要 アセアン各国について学習会	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
2	10月22日（水）	第2回 意見交換会 高遠ぶらり フェアウエルパーティーについて	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
3	11月12日（水）	第3回 各企画のリハーサル	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
4	12月10日（水）	第4回 合同評価会の報告と交流のまとめ	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員

プログラム展開 アセアン加盟国中学生招聘交流事業 (1)アセアン中学生の 日本に対する理解の増進について(主として)

①11月18日(火)足湯体験(諏訪湖 足湯)



気持ちいい！ 足湯最高

②11月19日(水)日本語補講(信大農学部)



はじめまして わたしは〇〇からきました。

③11月19日(水)雪山体験(千畳敷カール)



和楽器体験 高遠雛子保存会

④11月20日(木)雪山体験(千畳敷カール)



はじめて見る雪に大興奮・寒さも吹き飛ば

⑤11月20日(木)水引つくり体験(ふるさと工芸館)



難しそうだけどコツをつかめば

⑥11月21日(金)日本の歴史学習(松本城)



英語のガイドさんに質問の嵐

⑦11月22日(土)食文化体験(おやき)



おやき五平餅「まるめて まるめて」

⑧11月23日(日)ホームステイ体験



習字体験。よくできました。

プログラム展開 アセアン加盟国中学生招聘交流事業 (2)日本の青少年の国際的視野の醸成・次世代リーダーの養成 (主として)

①9月、10月、11月 中学生交流企画委員会



部活動交流 歓迎式典 ハイタッチで迎え

③11月24日(月)高遠ぶらり



ポイントを探して 高遠城址公園

⑤11月24日(月)中学生意見交換会



テーマ 比べてみよう 学校

⑦11月24日(月)中学生意見交換会



テーマ 自分たちにできること

⑨11月25日(火)フェアウエルパーティー



シンガポールチームとパチリ

②11月24日(月)高遠ぶらり



高遠ぶらり 出発式 司会中学生

④11月24日(月)高遠ぶらり



伊澤修二先生宅にて

⑥11月24日(月)中学生意見交換会



テーマ 自分の国のいいところ紹介

⑧11月25日(月)フェアウエルパーティー



中学生交流企画委員会委員長あいさつ

⑩11月25日(火)フェアウエルパーティー



カンボジアの民族舞踊をみんなで踊ろう

プログラム展開 アセアン加盟国中学生招聘交流事業 (3) 高遠中学校校との交流を通して

①11月21日(金)部活動交流



(剣道 バスケットボール バレーボール サッカー 吹奏楽)



③11月25日(火)授業交流



(2年理科 カルメ焼き 3年総合 太鼓)



2年家庭科 うどん作り)



⑤11月25日(火)給食体験・清掃体験



⑦11月25日(火)学年交流



(1年交流 折り紙 百人一首)



⑧11月25日(火)全体交流



⑨11月25日(火) 全体交流



(カンボジア民族舞踊 マレーシアバンブーダンス シンガポール歌)



日本人参加者の感想

- 高遠ぶらりをもう一度したい。外国の人と交流することは大切だからぜひやりたい。
- 英語力を高めないと言葉が通じない。伝えようとする気持ちや心はもっと大事だと思った。
- 日本人と違ってみんな大人でした。これからずっとつながっていきたい。
- 来年もアセアンの交流があるといいな。生徒はみんなが楽しめたと思う。
- もっとお互いの国のことをよく知りたい。
- 言葉が通じなくても、表情で心がわかったりする。ハートがとても大切だと思った。
- 優しい友達ができたのでうれしかった。仲良くなれたからずっと忘れないでいてほしい。
- 学校での交流、フェアウェルパーティーが本当に楽しくて、アセアン委員になってよかった。
- 意見交換会で自分と違う国の文化・生活を知ることができてよかった。

プログラム展開 アセアン加盟国中学生招聘交流事業

(4)東京プログラム 合同評価会から

①11月27日(木)合同評価会(東京)



通訳さんと打ち合わせ

ミャンマー・ラオス・シンガポール・カンボジア・マレーシアのアセアン5か国と 信州高遠青少年自然の家(伊那市立高遠中学校(代表3名)) 花山青少年自然の家(代表中学生2名)が参加。



合同評価会会場

②ラオスの発表



③花山の発表



どんな大人になりたいかをテーマに意見交換を行い、「責任感」というキーワードを引き出す。国ごとの責任感を比較し、他の人どうかかわればよいかを考えた。

④マレーシア・シンガポール・カンボジアの発表



各国とも今回の交流を通して学んだことから文化の違いや良いところについてまとめていた。この経験を活かし、これからの人生を充実させていきたい気持ちがこもっている。



高遠中学校の発表
強い絆が生まれた



伊那市立高遠中学校の発表

発表・・・今回の交流を通して学んだこと、自分たちがこれからできることは何かを中心に発表した。結論は、「一番大事なことは つながる心」これで交流が終わりではなくこれから始まるんだ。」医療技術の交流、音楽での交流、アニメ・マンガを含むスポーツ文化交流、日本語教師の派遣と英語教師の派遣交流、英語力の向上と積極さ、個人的にできることを発表した。
お互いの国の良いところ、比べてみよう学校、これから自分たちにできることは？について意見交換会や交流したことからまとめていた。